2025 年度　セカンダリ技術研修会（中級応用編・仙台）《対面受講・リモート受講併用》
～建築設備の応用と技術動向を身につけるために～
デジタル化、プレハブ化等による建築・設備の省力化と品質向上 Part2

これまで、建築設備技術者協会東北支部と空気調和・衛生工学会東北支部主催のセカンダリ技術研修会では、隔年で BIM/CAD のデジタル化に触れて開催してきました。

この中で、設備設計での BIM の方向性として、設備も建築・構造と足並みを揃えるように言われておりますが、建築・構造の BIM の考え方と設備 BIM は違うことに対する認識の必要性などの講演もありました。また、建築設備の施工図の作成、とくに空気調和設備と給排水衛生設備では、設備専用 BIM/CAD ソフトウェアが、圧倒的に施工図作成の省力化に繋がるという認識が広まっております。空調・換気・排煙に用いられるダクトは、かなり前から CAM 機能を用いて作成しておりました。最近は、配管のプレハブ化にもつながっており、省力化や品質向上等に寄与しようとしております。このような背景から、今年度のセカンダリ技術研修会では、施工段階での BIM/CAD の活用を中心とした内容で研修会を開催いたします。

さらに近年では、AI（人工知能）技術の進展により、設備設計の効率化や快適な環境の実現などにも新たな変革の兆しが見られます。今後の BIM/CAD 運用で、AI の果たす役割はますます大きくなると考えられています。こうした技術の導入により、設備設計・維持管理におけるさらなる省力化、品質向上が期待されます。

今後の研修会では、BIM/CAD の発展に加え、AI 技術の導入による新たなワークフローの構築や、実務レベルでの活用事例などについても、より深く取り上げていく予定です。

各企業の教育担当の方は、社員の皆さまに、ふるって参加していただくよう、お声がけをお願い申し上げます。

2024 年度から 26 年度までの 3 年度間の予定で、給排水衛生設備と空気調和設備分野のスタートアップ技術研修会とプライマリ技術研修会への教職員と学生の受講料を無料にしており、本技術研修会も同様と致します。建築設備技術者協会では、工業高等学校や大学に出前授業を行っている支部もあります。空気調和・衛生工学会は、1986 年以降、振興賞高校教育賞を設け表彰してきました。とくに、次世代の建築設備を担う生徒の教育・育成に携わっている工業高等学校の教職員の皆さまが、基礎知識や応用技術に容易に触れられる機会を設けることに致しました。設備工業・設備システム・環境設備系の科に限らず、卒業後に建築設備に従事することがある建築系、機械系や電気系等の科の教職員の皆さまにも参加いただくようお待ちしております。

主催　建築設備技術者協会東北支部、空気調和・衛生工学会東北支部
共催　日本工業出版㈱
後援　日本建築学会東北支部環境工学部会、電気設備学会東北支部、日本冷凍空調学会東北地区事業推進委員会、公共建築協会、日本技術士会東北本部衛生工学・環境・上下水道部会、日本設備設計事務所協会連合会北海道・東北ブロック、日本空調衛生工事業協会東北支部、東北空調衛生工事業協会、日本電設工業協会東北支部、山形県設備技術協議会
日程　2025 年 11 月 27 日（木）9：50～17：10
開催場所　宮城県管工事会館 9 階 大会議室　仙台市青葉区本町 3-5-22　TEL 022- 224-7091
定員　対面 45 名、リモート 100 名　（先着順受付け、最小催行人数 25 名）
ＣＰＤ　1 時間当たり 1 ポイント（6 ポイント）
受講料　1 日・1 人当たり 6,000 円（税込）。ただし、リモート参加の教職員*1・学生*2 は無料。
（対面受講・リモート受講に関わらず同額）

＊1　教職員は、学校教育法や職業能力開発促進法等に基づき設置した学校に勤務する教職員に限る。申込書を送付する際、教職員であることがわかるものを添付ください。

＊2　申込書を送付する際、学生証の写しを添付ください。ただし、性別や生年月日等は黒塗りして

差し支えありません。

共通配布資料（データのみ提供）と月刊誌『建築設備と配管工事』2025 年 11・12 月号（冊子）

教職員・学生以外：受講料に含む（月刊誌送料込）。

教職員・学生：1 人 2,500 円（税込、月刊誌送料込）でデータのみ提供。

申込方法　申込書に必要事項を記載して、FAX または E-mail にてお送りください。

※建築設備技術者協会と空気調和・衛生工学会東北支部ホームページからは Excel による申込書がダウンロード可能です。

建築設備技術者協会（セミナー/東北エリア）https://www.jabmee.or.jp/seminar-th/

空気調和・衛生工学会東北支部　http://tohoku.shasej.org/schedule.html

申込締切　11 月 25 日（火）正午　※各講義日が定員に達した場合は順次締め切ります。

支払方法　建築設備技術者協会東北支部より、請求書をお送りしますので、
12 月 10 日（水）までに、指定口座にお振り込みください。

注意事項

・銀行振込受領書をもって、領収書に代えさせていただきます。
なお、建築設備技術者協会東北支部の請求書と領収書が必要な方は、その旨をご連絡下さい。

・配布資料は、対面受講の方もリモート受講の方にも、データをダウンロードいただくように致します。

・欠席された場合、受講料の払い戻しはいたしませんのでご了承下さい。

申込･問合せ先

技術研修会係（建築設備技術者協会東北支部、空気調和・衛生工学会東北支部事務局）

TEL：022-224-7091　FAX ：022-797-2486　E-mail：jabmee@tohoku-shibu.org

プログラム

司会：月野 智弘（㈱ピーエーシー）

【前半】

時間	題目・講師（敬称略）	
9：50～10：20	BIM/CAD を活用したプレハブ樹脂配管	積水化学工業㈱ 総合研究所 大道 康之
10：20～10：50	地中熱利用システムの設計・施工・保守管理までの一括管理の現状と将来展望	ミサワ環境技術㈱ 技術開発本部　　重岡 直紘
10：50～11：20	BIM/CAD を活用した機器類の設計・製造・保守管理等の現状と課題、将来展望	ゼネラルヒートポンプ工業㈱ 設計部　　宮平 英樹
11：20～11：30	休　　憩	
11：30～12：30	設備 CAD としての BIM の対応と施工図作成の課題・今後の動向	㈱四電工 技術本部 CAD 開発部 濱田 智祥
12：30～13：00	BIM が果たす設備設計業務へのアシスト	㈱CYPE エンジニアリング 田中 謙太朗

【後半】

時間	題目・講師（敬称略）	
14：00～14：40	建築設備設計における AI と BIM 技術の応用について	東北工業大学 建築学部 許 雷
14：40～15：20	高等教育機関における建築環境・設備教育のあり方	日本大学 工学部 建築学科 宮城 聡
15：20～15：30	休　　憩	
15：30～16：20	設計施工一貫設備工事の BIM ワークフローと活用手法	㈱竹中工務店 東京本店 設計部 BIM 推進グループ　　島宗 幸子
16：20～17：10	buildingSMART Japan 環境設備小委員会の取り組みと設備エンジニアが果たす BIM･DX の役割	新菱冷熱工業㈱　　谷内 秀敬 （buildingSMART Japan 環境設備小委員会 委員長）

※ 開場は 9：30 分です